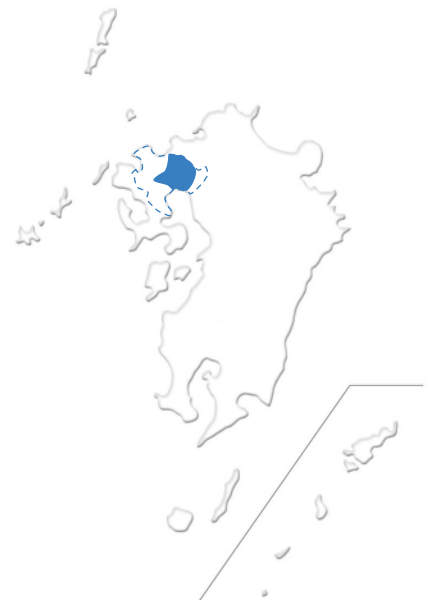




環境にやさしい企業活動を目指して



108 佐賀営業所環境アクションレポート



ずっと先まで、明るくしたい。

ごあいさつ

九州電力(株)佐賀営業所は、佐賀県中部の佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町及び福岡県大川市の一部のお客さまに、お客さまの期待を上回る電気を中心としたサービスを提供することで、地域やお客さまとの間に強固な信頼関係を築くことを目指しています。

当営業所は、2002年6月に環境管理(環境マネジメントシステム)の国際規格である「ISO14001」の認証を取得し、営業所の全所員が環境活動に積極的に取り組んでいます。

具体的には、「地球温暖化の防止や自然環境の保全に努め、環境に配慮した事業活動を推進するとともに、豊かな環境の実現を目指し、地域の皆さまとともに歩む」という基本理念のもとに、

- 環境保全の推進と環境マネジメントシステムの継続的改善
- 環境に関する法規制等の遵守
- 地域の環境美化、緑化活動への貢献

など、5項目の基本方針を定め、環境に配慮した行動を実践しています。

今回、皆さまに私たちの環境保全への取り組みを知っていただくために、この「佐賀営業所環境アクションレポート」を発行しました。皆さまの率直なご意見、ご感想をお待ちしております。

私たちは、今後とも地域の皆さまのご理解とご協力を得ながら、環境にやさしい事業活動を推進していく所存です。

2008年6月

佐賀営業所長
田村 治宏



第1章／佐賀営業所の概要 …………… 2

- 1. 佐賀営業所概要 …………… 2
 - (1) 管内の地理
 - (2) 管轄区域
- 2. 組織と業務 …………… 2
- 3. 佐賀営業所と環境との関わり …………… 3
- 4. 環境方針 …………… 4

第2章／環境活動のしくみ …………… 6

- 1. 環境マネジメントシステム …………… 6
 - (1) 運用体制
 - (2) 環境マネジメントシステムの導入とISO14001認証取得
 - (3) 内部環境監査
 - (4) 教育・訓練
 - (5) 外部審査
 - (6) 2007年度EMS活動実績
- 2. 環境目的・目標の計画と実績 …………… 9
 - (1) EMS目標と実績の推移(2006年度～2007年度)
 - (2) 2008年度EMS目標

第3章／環境活動への取組み …………… 10

- 1. 循環型社会形成への取組み …………… 10
 - (1) コピー用紙購入量削減への取組み
 - (2) 産業廃棄物の発生抑制及び適正処理
 - (3) グリーン調達推進
 - (4) 割り箸リサイクル活動
- 2. 省エネ・省資源への取組み …………… 12
 - (1) エコキュートの普及促進及び省エネPRの実施
 - (2) 電気自動車の優先使用
- 3. 地域社会との協調 …………… 12
 - (1) 原子力の環境特性面のPR
 - (2) 植樹活動の実施
 - (3) 清掃ボランティアの実施

第4章／ISO14001認証取得とその後の経緯 …………… 13



〈撮影〉佐賀支店エネルギーサポートG 山北 隆則

表紙の写真について

■佐賀インターナショナルバルーンフェスタ

佐賀の秋の風物詩といえば、アジア最大の熱気球イベント「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」。100機以上の熱気球が嘉瀬川河川敷から一斉に離陸する光景は圧巻。当社バルーンクラブも参加しています。

第1章 / 佐賀営業所の概要

1. 佐賀営業所概要

(1) 管内の地理

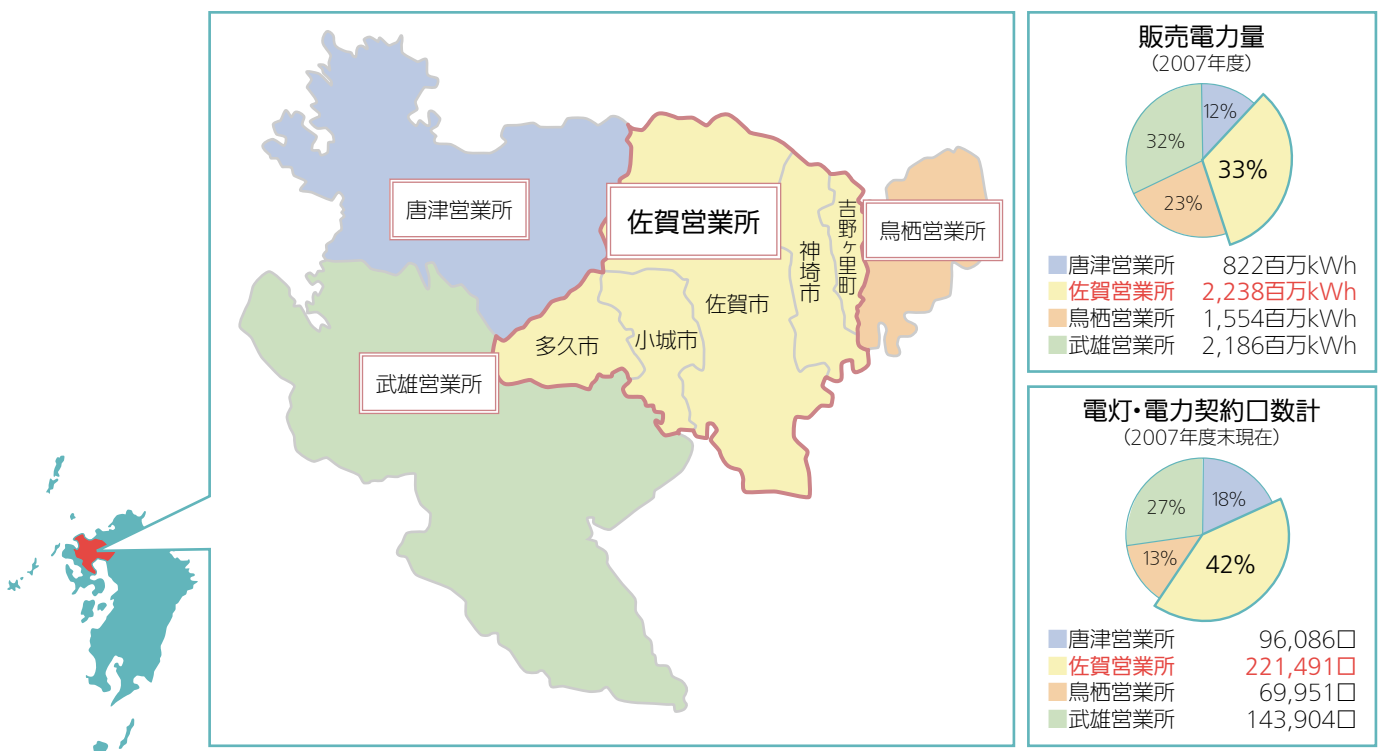
佐賀営業所の管轄区域は県央に位置し、北はスキー場や温泉施設で賑う「天山脊振山系」、中央は米や大麦の生産に適した肥沃な「佐賀平野」、南は日本最大の干潟「有明海」に面する自然豊かな地域です。

また、2005年の市町村合併で県都同士（佐賀市、福岡市）が隣接する珍しい位置関係となっています。

(2) 管轄区域

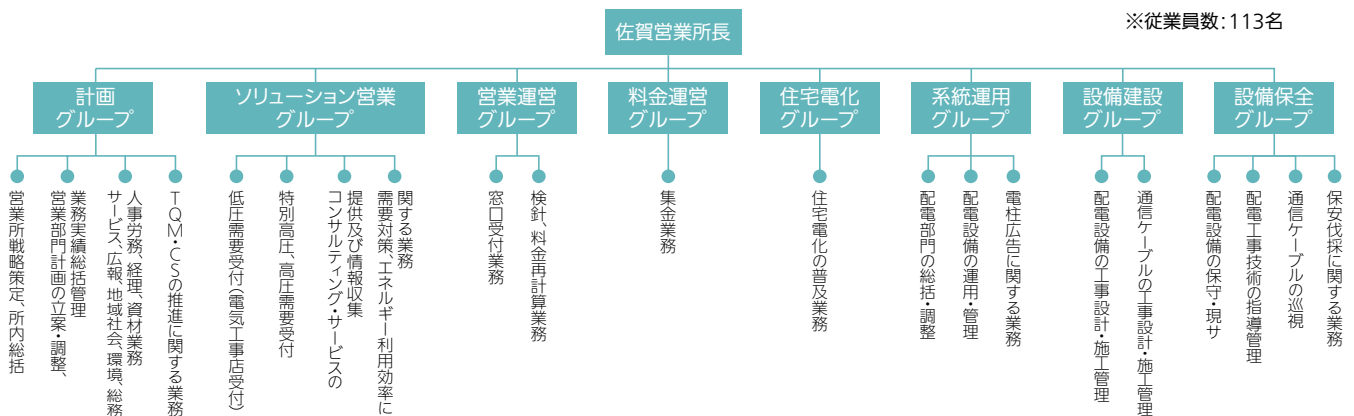
佐賀営業所は、佐賀県内の4市1町及び大川市の一部を管轄しています。

■ 管轄区域図と販売電力量、電灯・電力契約口数



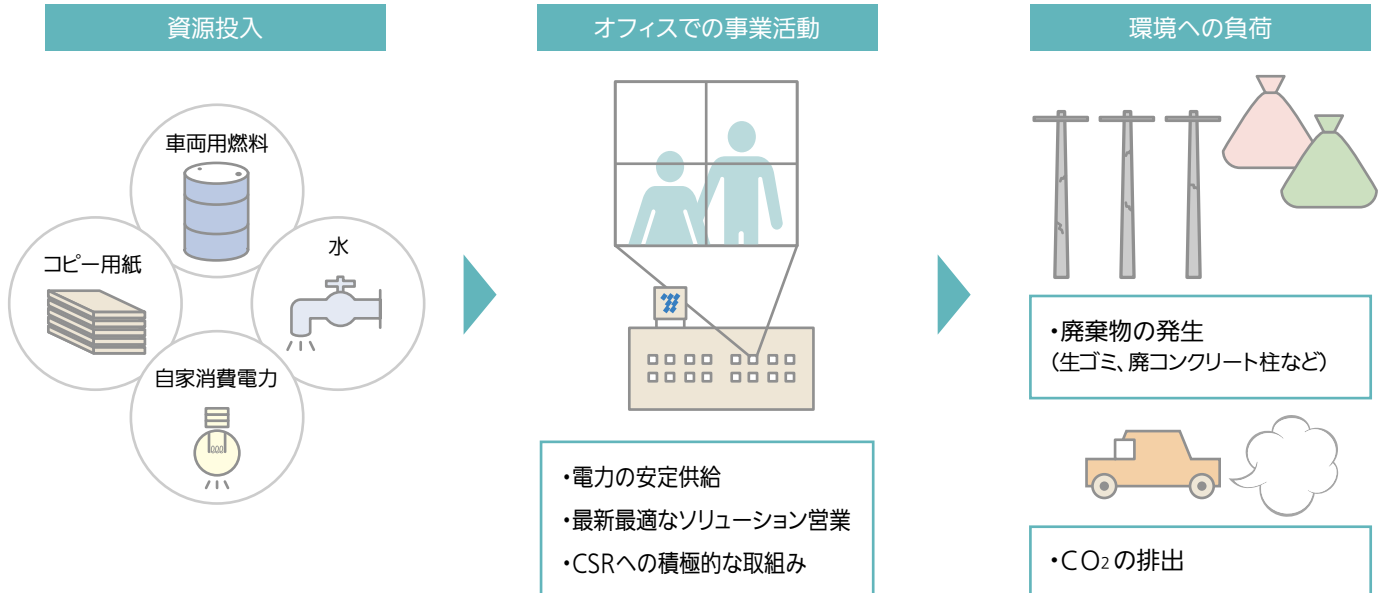
2. 組織と業務

佐賀営業所職場の組織は以下のとおりとなっています。

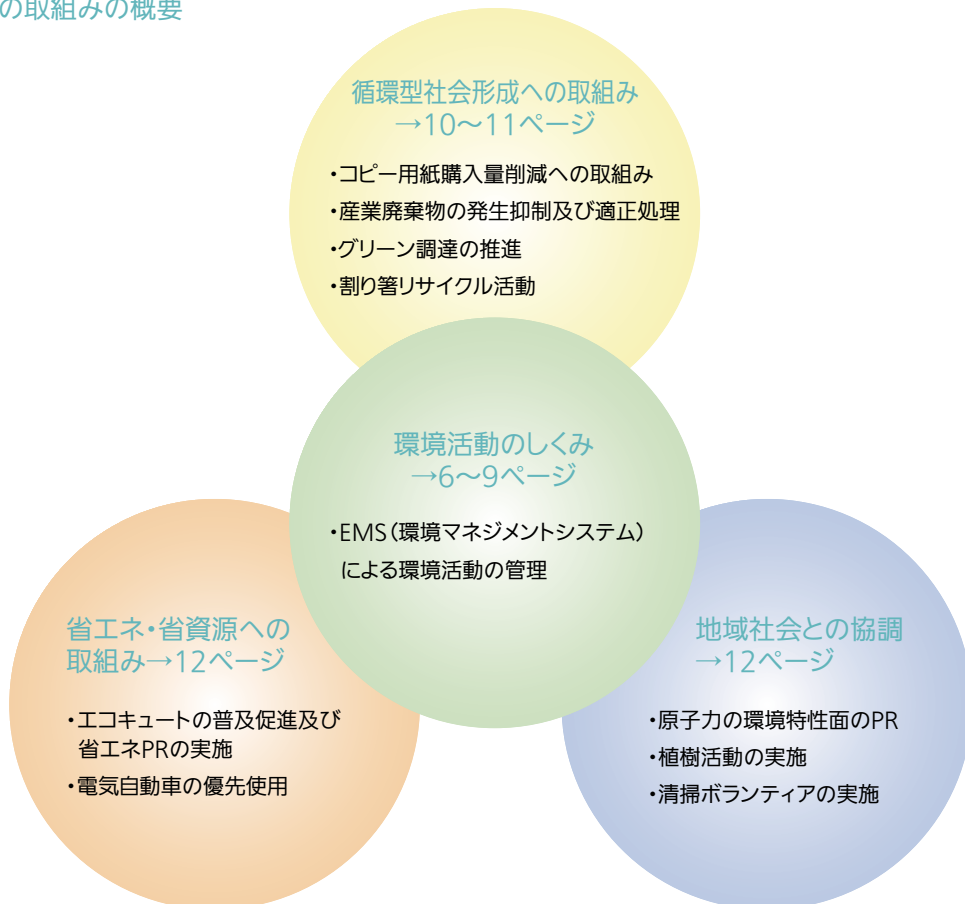


3. 佐賀営業所と環境との関わり

■ 事業活動と環境負荷



■ 2007年度における環境活動への取組みの概要



4. 環境方針

次ページに掲載している佐賀営業所の環境方針は、2001年12月14日に制定を行い、以後2003年3月20日と2005年3月31日の2度見直しを実施しています。

今後も、ISO14001規格に定める要求事項と社内における各方針、さらにこの「佐賀営業所環境方針」に基づき、所員一丸となって積極的に環境活動に取り組みます。

■ ISO14001規格要求事項

- a. 組織の活動、製品及びサービスの、性質、規模、及び環境影響に対して適切である。
- b. 継続的改善及び汚染の予防に関するコミットメントを含む。
- c. 組織の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び組織が同意するその他の要求事項を遵守するコミットメントを含む。
- d. 環境目的及び目標の設定及びレビューのための枠組みを与える。
- e. 文書化され、実行され、維持される。
- f. 組織で働く又は組織のために働くすべての人に周知される。
- g. 一般の人々が入手可能である。

■ 社内各方針

【九州電力の思い】

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九州電力の思いです。

1. 地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりと

2. 「なるほど」と実感していただくために

3. 九州とともに。そしてアジア、世界へ

4. 語り合う中から、答えを見出し、行動を

九州電力グループ環境憲章	環境アクションプラン
<p>九州電力グループは、持続可能な社会の実現を目指して、グローバルな視点で地球環境の保全と地域環境との共生に向けた取組みを展開します。</p> <ul style="list-style-type: none">1. 地球環境問題への適切な対応と資源の有効活用に努め、未来につなげる事業活動を展開します。2. 社会と協調し、豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。3. 環境保全意識の高揚を図り、お客さまから信頼される企業グループを目指します。4. 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを推進します。	<ul style="list-style-type: none">1. 地球環境問題への取組み2. 循環型社会形成への取組み3. 地域環境との共生4. 社会との協調5. 環境管理の推進

■ 佐賀営業所環境方針

環境方針

基本理念

九州電力株式会社佐賀営業所は、エネルギーを中核にした商品・サービスの提供を通じ、お客さまの満足と信頼を得て、社会とともに発展することを目指して事業活動を展開しています。

私たちは社会の発展と環境との調和を図るためには、環境問題への取組みが自らの存在と事業活動に必須の条件であることを認識し、「地球温暖化の防止や自然環境の保全に努め、環境に配慮した事業活動を推進するとともに、豊かな環境の実現を目指し、地域の皆さまとともに歩む」ことを基本理念とします。

基本方針

- 1 佐賀営業所の業務活動にかかわる環境側面を常に認識し、環境保全を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境負荷の低減に努めます。
- 2 営業所の環境側面に適用される法的及びその他の要求事項を遵守します。
- 3 業務を行うにあたっては、環境への配慮の視点を持ち省資源・省エネルギーに努めます。
また、発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再利用(Recycle)の3Rを促進します。
- 4 佐賀営業所管轄内の地域の環境美化、緑化への貢献など、地域社会の一員としての活動を積極的に行います。
- 5 この環境方針を達成するために、環境教育による社員の意識向上に努め、環境目的・目標を定め計画的に活動するとともに、それらを定期的に見直し、継続的改善を行います。

平成17年4月1日

九州電力株式会社 佐賀営業所長

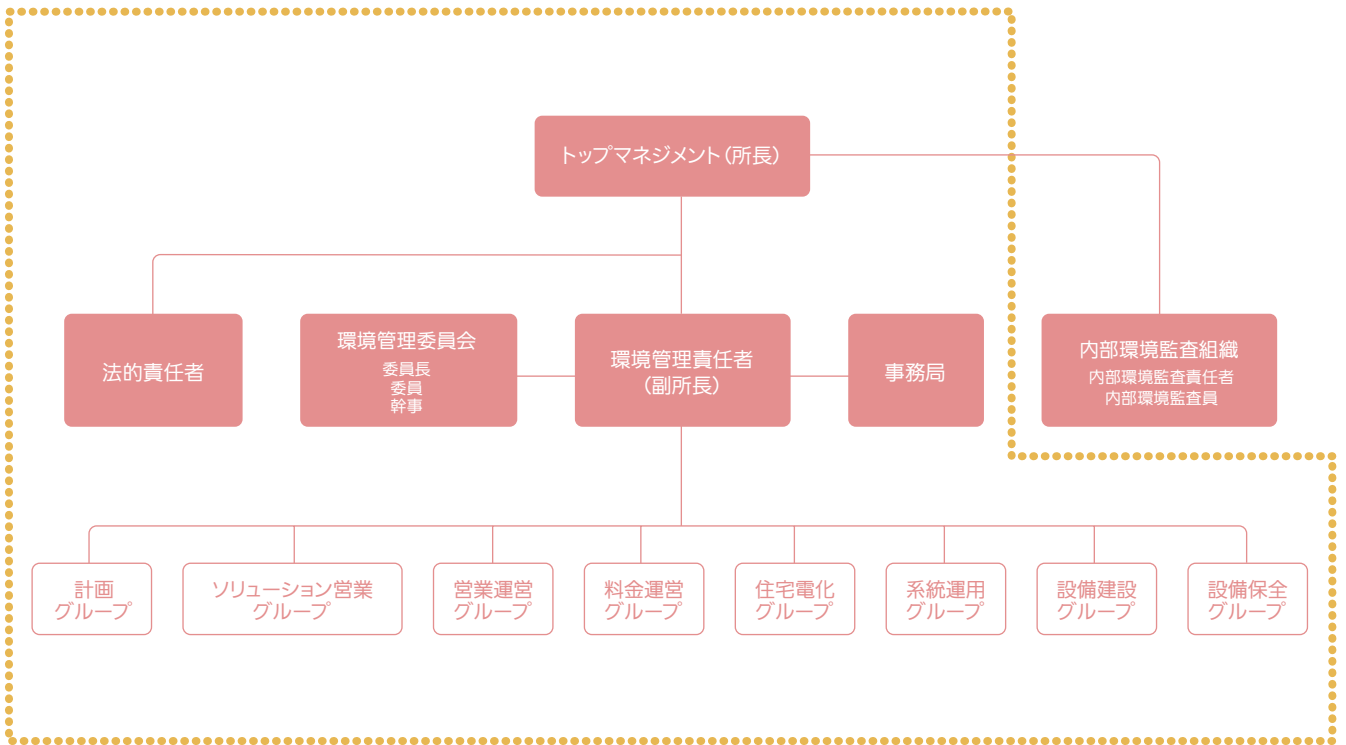
この環境方針は営業所全従業員に周知するとともに、一般の人にも開示します。

第2章／環境活動のしくみ

1. 環境マネジメントシステム

(1) 運用体制

所長をトップとして、所長が任命したEMSに関する責任者である環境管理責任者のもと、営業所職場で業務する所員が協力して環境活動を実施しています。

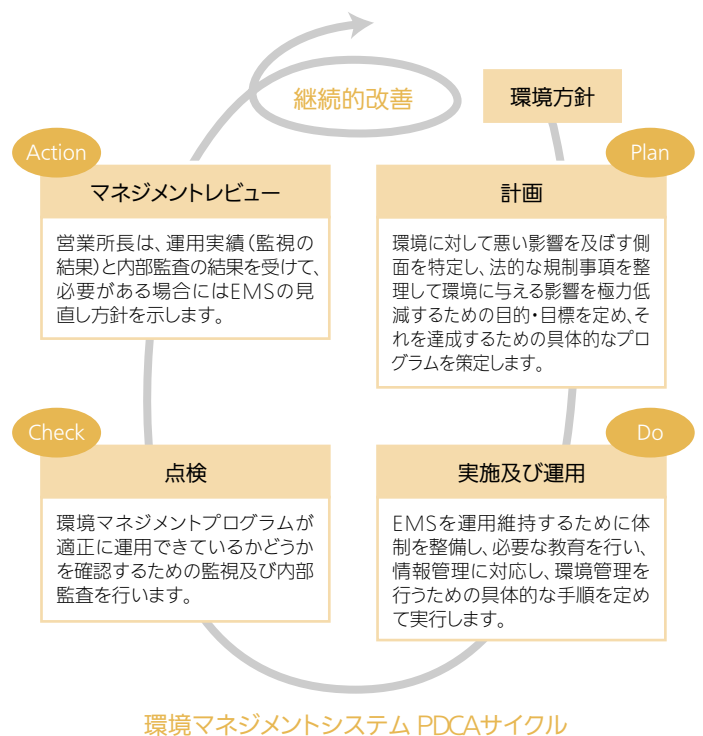


(2) 環境マネジメントシステムの導入とISO14001認証取得

佐賀営業所では、事業活動全般にわたって企業の成長と環境を両立させる「環境経営」を推進していくために、環境保全活動を継続的に実施、改善するための、体制や手順を含む体系的な仕組みである、環境マネジメントシステム (EMS) を導入しています。

EMSで環境保全活動についてPDCAサイクルを繰り返すことにより、営業所所員の環境に対する意識を高め、継続的な環境改善活動に繋がっています。

このシステムを2002年3月に導入し、6月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



環境マネジメントシステム PDCAサイクル

(3) 内部環境監査

営業所長が任命した「内部環境監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。この監査では、佐賀営業所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているか確認しています。

また、監査による指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

内部環境監査員資格取得状況

計画G	2
ソリューション営業G	3
営業運営G	2
料金運営G	1
住宅電化G	1
系統運用G	2
設備建設G	1
設備保全G	3
合計	15

(4) 教育・訓練

環境保全の重要性及びEMSを理解して活動していくために、EMSに関する教育、研修及び訓練を定期的に行っています。

※1 EMS内容教育

EMSに関しての所員の力量を確保するために行う教育で、年に1回全所員を対象にEMSの必要性、目的・目標の周知などを行っています。

※2 内部環境監査員養成研修

EMSのシステムが的確に運用されているか確認するための内部監査を実施する上で、監査員の力量を確保するために実施している研修です。

主な教育訓練

自覚教育	適切な訓練	力量の確保	項目	頻度	2007年度実績
○	—	—	EMS内容教育※1	1回/年	5~6月実施
○	—	○	環境管理責任者EMS専門研修	都度	2006年受講済
○	—	○	環境担当者EMS専門研修	都度	9月受講
—	—	○	内部環境監査員養成研修※2	都度	9~11月実施
—	○	—	緊急事態対応訓練	都度	消防訓練:11月実施 変圧器損壊対応訓練:12月・1月実施
—	—	○	技術訓練	10日/月	毎月実施

(5) 外部審査

2002年6月のISO14001認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。

審査での指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

2008年度は、認証の有効期間が3年であることから、2回目の更新審査を受審しました。

外部審査機関による受審の状況

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
認証取得	○						
更新審査				○			○
定期審査		○	○		○	○	



外部審査受審状況

(6) 2007年度EMS活動実績

2007年度における佐賀営業所でのEMS活動実績については、以下のとおりです。

ISO14001 要求事項	実施内容
4.3.1 環境側面	2007.3 著しい側面登録簿(環境管理責任者) 2007.3 緊急事態特定(環境管理責任者)
4.3.3 目的、目標及び実施計画	(目的、目標) 2007.3.7 全体目的・目標設定(所長) 2007.3.7 個別目的・目標設定(環境管理責任者) (実施計画) 2007.3.7 全体実施計画書策定(所長) 2007.3.7 個別実施計画書策定(環境管理責任者) 2007.3 EMS年度計画書策定(所長)
4.4.1 資源、役割、責任及び権限(環境管理委員会)	2007.5 2007年度全体目的・目標一部見直し 2007.12 環境管理基準改正 2008.3 2007年度EMS定期見直し
4.4.2 力量、教育訓練及び自覚	都度 EMS内容教育 都度 転入者教育 都度 取引先EMS教育 ほか
4.4.3 コミュニケーション(苦情処理)	EMS関連の苦情なし
4.4.5 文書管理(EMS文書改正履歴)	2007.4 環境管理基準定期見直し 2007.4 環境マニュアル定期見直し 2007.4 法規制登録簿定期見直し ほか
4.4.6 運用管理	1回/四半期 所長へ報告
4.5.2 順守評価	2007.12 法的及びその他の要求事項の順守評価実施
4.5.3 不適合並びに是正処置及び予防措置(改善提案処置)	2007.5他 2007年度目的・目標の見直し (旧規格コンクリート柱再使用未達成)
4.5.5 内部監査	2008.1 内部監査実施 2008.2~3 内部監査不適合是正措置(計画G)
4.6 マネジメントレビュー	都度 2007年度全体目的・目標の見直し 都度 環境管理基準・環境マニュアルの改正 ほか

2. 環境目的・目標の計画と実績

佐賀営業所では、環境に与える影響を極力削減するための目的・目標を定め、環境活動に取り組んでいます。また、ここに掲げる定量的な目標以外にも、本社における環境活動の具体的計画である「環境アクションプラン」に基づき、環境負荷を低減する取組みを所員一丸となって行っています。

(1) EMS目標と実績の推移(2006～2007年度)

当所における環境目標の内容と実績については、以下のとおりとなっています。

全体目的	全体目標	2006年度		2007年度		主改善施策
		目標	実績	目標	実績	
所内の使用電力量削減	所内の使用電力量削減	前年度比1.0%削減	2.4%	—	—	3事業所(佐賀支店、佐賀営業所、佐賀電力所)での取組みのため、日常運用管理へ変更
廃棄物抑制・リサイクル体制確立	供給支障事故の減少	継続事故11件以下	7件	お客さま当り停電時間1分	1分	変動の大きい事故件数からお客さま当りの停電時間に目標を変更
資源の再使用体制の確立	旧規格電柱の再使用	再利用率90%以上	88.4%	—	—	旧規格電柱の発生が不安定であり、目標として不適なため日常運用管理に変更
CO ₂ 排出抑制	オール電化住宅普及促進	普及2,410戸	2,457戸	普及2,700戸	2,950戸	2008年度からはCO ₂ 削減効果の高いエコキュートに特化した目標に変更 当社からの買電に切り替え可能な施設については獲得済のため、日常運用管理へ変更
	エコキュート普及促進	—	—	年1,000台	1,607台	
	自家発電り需要の獲得	2,000kW以上	3,025kW	—	—	
原子力の環境特性面の更なるPR	プルサーマルの環境特性面の更なるPR	—	—	必要性認識向上10ポイント以上	23ポイント	実績見合いで目標値を変更

(2) 2008年度EMS目標

2008年度は、以下の内容を目標に掲げ、環境活動に取り組んでいきます。

全体目的	全体目標	2008年度目標
廃棄物抑制・リサイクル体制確立	供給支障事故の減少	お客さま当り停電時間1分
CO ₂ 排出抑制	エコキュート普及促進	年1,679台
原子力の環境特性面の更なるPR	プルサーマルの環境特性面の更なるPR	必要性認識向上20ポイント以上



エコキュート普及促進活動

第3章／環境活動への取組み

1. 循環型社会形成への取組み

当社は資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される「循環型社会」形成の必要性を十分に認識し、廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロエミッションへの挑戦」をスローガンに、事業活動で発生する廃棄物の発生抑制(Reduce:リデュース)、再使用(Reuse:リユース)、再利用(Recycle:リサイクル)の3Rを推進しています。

(1) コピー用紙購入量削減への取組み

コピー用紙については、電子承認文書システムの使用、両面印刷機能の有効活用、裏面コピー用紙の優先使用、会議時におけるプロジェクターの使用などにより、使用量の抑制に努めています。

また、発生した古紙についてもリサイクル率100%維持に向けた取組みを実施しています。



古紙の分別状況

(2) 産業廃棄物の発生抑制及び適正処理

佐賀営業所は、供給支障事故の発生により排出されるお客さまの産業廃棄物を抑制するために、事故防止検討会および特別巡視を実施し「一お客さまあたりの停電時間1分」を目標に取り組んでいます。

また、佐賀営業所から発生する廃棄物は、可能な限り分別を徹底し、リサイクルを促進するなど、極力最終処分量を削減する取組みを実施しています。

(3) グリーン調達への推進

当社は循環型社会の形成に資することが自らの責務であると認識し、製品等の調達においても環境にやさしい製品等の調達を図る「グリーン調達」を積極的に推進しています。

(4) 割り箸リサイクル活動

佐賀営業所では、2000年7月より「ご近所割り箸リサイクル活動」に取り組んでいます。

「ご近所割り箸リサイクル活動」とは、当所近郊の営業施設や一般家庭から持ち込まれた割り箸を定期的に製紙会社に運搬するという活動で、運搬した割り箸は製紙会社にて紙に再生されています。

当所に持ち込まれた割り箸は毎月第2・第4水曜日に所員が梱包し、製紙会社に運搬しており、2007年度の運搬量は、2,852kgとなりました。

この量の割り箸だけで紙を製造したと仮定した場合、A4版コピー用紙にして約95箱分(1箱:2,500枚)、ティッシュペーパーにして約4,278箱分となります。

【参考】

- ・割り箸3膳(12g)⇒コピー用紙1枚(A4版)
- ・割り箸2,500膳(10kg)⇒ティッシュペーパー15箱

(出典:王子製紙(株)ホームページ)

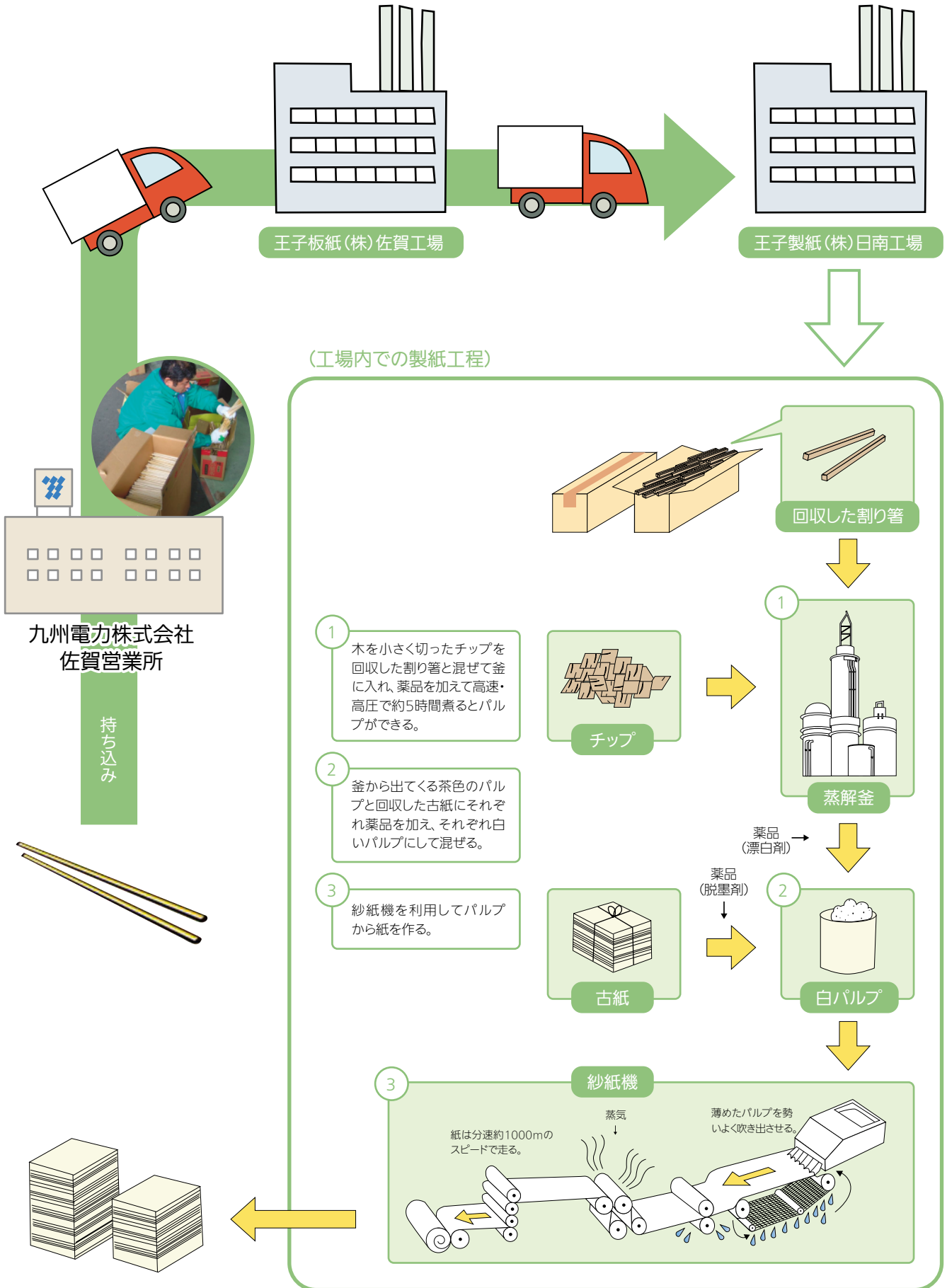


割り箸の箱詰め風景



王子板紙(株)佐賀工場への運搬

■ 割り箸リサイクル工程図



(王子製紙(株)ホームページ掲載図を参考に作成)

2. 省エネ・省資源への取組み

佐賀営業所では、地球の資源を利用しつつ事業活動を行っていることを認識し、温室効果ガスを削減するための取組みを実施しています。

(1) エコキュートの普及促進及び省エネPRの実施

エコキュートの普及促進、お客さまへの省エネコンサル等を実施することで、CO₂の排出抑制に貢献しています。

(2) 電気自動車の優先利用

事業所内において、車両予約システムを利用し電気自動車を優先使用することにより温室効果ガスの削減に努めています。



電気自動車

3. 地域社会との協調

佐賀営業所では、地域社会との対話を大切にする観点から、環境PR活動や、植樹活動などにも取り組んでいます。

(1) 原子力の環境特性面のPR

原子力の環境特性面をお客さまにご理解いただくため、原子力発電所見学会を実施しています。

具体的には、営業所内各グループにつき年間50名以上の成人層(16歳～69歳)のお客さまを引率させていただき、見学会前後のアンケート結果による必要性認識度の違いについて、ポイント化した目標の達成に取り組んでいます。2007年度は、合計1,489名(うち、成人層1,036名)のお客さまにご参加いただきました。

(2) 植樹活動の実施

当社では、10年間で100万本の植樹を行う「九州ふるさとの森づくり」を展開しており、佐賀支店全体で地域の皆さまとともに植樹活動に取り組んでいます。

2007年度は、佐賀支店主催により杵島郡大町町にて実施された「九州ふるさとの森づくりin大町町」へ参加し広葉樹15,000本の植樹を行いました。



「九州ふるさとの森づくりin大町町」での植樹風景

(3) 清掃ボランティアの実施

環境美化活動の一環として、毎月15日に事業所周辺の清掃活動を実施しています。また、「お客さまありがとうございますキャンペーン」の一環として佐賀城跡「鯨の門」と石垣及び周辺清掃を実施しています。



佐賀城跡「鯨の門」周辺清掃

第4章／ISO14001認証取得とその後の経緯

【主要経緯】

2001年	7月	佐賀営業所におけるISO14001認証取得を社内決定
2001年	9月	「ISO14001」認証取得に向けた環境推進委員会を結成
2001年	12月	「環境方針」制定
2002年	3月	「環境管理基準」制定
2002年	5月	本審査
2002年	6月26日	認証取得
2003年	5月	1年次サーベイランス
2004年	5月	2年次サーベイランス
2005年	5月	更新審査
2006年	5月	更新後1年次サーベイランス
2007年	5月	更新後2年次サーベイランス
2008年	4月	更新審査

【登録証】





ずっと先まで、明るくしたい。

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

九州電力(株)佐賀営業所 計画グループ
TEL(0952)33-1164 FAX(0952)33-6460
<http://www.kyuden.co.jp/>

九州電力はチーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



九州電力
環境活動シンボルマーク

このシンボルマークは、九電グループが取り組む4つの事業領域（総合エネルギー事業、情報通信事業、環境・リサイクル事業及び生活サービス事業）を「4つ葉のクローバー」でデザインしたもので、クローバーの茎は、Energy、Ecologyなどの「e」を意味し、九州電力がグループ全体の事業活動を通して環境活動を推進していく姿勢を表現しています。